

演習問題 解答

第1回

第1問 (1) $P(x)$ に $x = 1$ を代入すると

$$P(1) = 1 - 2b - a(b - 6) + 2a(b - 2) = 1 - 2b + ab + 2a$$

である. 条件より $P(1) = b^2 - b - 1$ であるから

$$1 - 2b + ab + 2a = b^2 - b - 1 \quad \text{より} \quad b^2 + b(1 - a) - 2(1 + a) = 0$$

が成り立つ. b について, 2次方程式の解の公式より

$$b = \frac{-(1-a) \pm \sqrt{(1-a)^2 + 8(1+a)}}{2} = \frac{a-1 \pm \sqrt{(a+3)^2}}{2}$$

ここで, $a > 0$ より $a+3 > 0$ であるから, $\sqrt{(a+3)^2} = a+3$ であって,

$$b = \frac{a-1 \pm (a+3)}{2} = a+1, -2$$

したがって, $b > 0$ より, $b = a+1$ である ($a > 0$ より $b = a+1 > 0$ である).
また, 上の結果より

$$P(x) = x^3 - 2(a+1)x^2 - a(a-5)x + 2a(a-1)$$

であり, $P(2) = 8 - 8(a+1) - 2a(a-5) + 2a(a-1) = 0$ である.

(2) $P(2) = 0$ であるから, 因数定理より $P(x)$ は $x-2$ で割り切れる. $P(x)$ を $x-2$ で割ると

$$P(x) = (x-2)(x^2 - 2ax - a^2 + a)$$

である. $x^2 - 2ax - a^2 + a = 0$ が $x = 2$ でない 2つの異なる実数解を持てばよい. 判別式 D について

$$D/4 = (-a)^2 - (-a^2 + a) = 2a^2 - a = a(2a - 1) > 0$$

が成り立てばよいから, $a > 0$ に注意して, $a > \frac{1}{2}$. また, $x = 2$ が $x^2 - 2ax - a^2 + a = 0$ の解であるとき,

$$2^2 - 2a \cdot 2 - a^2 + a = -(a^2 + 3a - 4) = -(a+4)(a-1) = 0$$

より $a = -4, 1$ であるから, 題意より $a \neq 1$ である. 以上より求める条件は

$$\frac{1}{2} < a < 1, 1 < a.$$

第2問 (1) $t^2 = \sin^2 x + 2 \sin x \cos x + \cos^2 x = 1 + 2 \sin x \cos x$ であるから

$$\sin x \cos x = \frac{t^2 - 1}{2}$$

である。したがって

$$y = -2t \left(1 - \frac{t^2 - 1}{2} \right) = t^3 - 3t.$$

(2) 三角関数の合成を用いて、

$$t = \sin x + \cos x = \sqrt{2} \sin \left(x + \frac{\pi}{4} \right)$$

とできる。

$$0 \leq x < 2\pi \quad \text{より} \quad \frac{\pi}{4} \leq x + \frac{\pi}{4} < 2\pi + \frac{\pi}{4}$$

であるから、 t の取りうる値の範囲は

$$-\sqrt{2} \leq t \leq \sqrt{2}.$$

(3) (2) で得られた式において、 y を t について微分すると、

$$y' = 3t^2 - 3 = 3(t+1)(t-1)$$

である。よって $y' = 0$ となるのは $t = \pm 1$ のとき。増減表は次のようになる。

t	$-\sqrt{2}$	\dots	-1	\dots	1	\dots	$\sqrt{2}$
y'		$+$	0	$-$	0	$+$	
y	$\sqrt{2}$	\nearrow	2	\searrow	-2	\nearrow	$-\sqrt{2}$

ここで、 $t = 1$ のとき、

$$\sin \left(x + \frac{\pi}{4} \right) = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

であるから、

$$x + \frac{\pi}{4} = \frac{\pi}{4}, \frac{3\pi}{4} \quad \text{ゆえに} \quad x = 0, \frac{\pi}{2}$$

同様に、 $t = -1$ のとき、

$$x = \pi, \frac{3\pi}{2}$$

である。以上より

$$x = \pi, \frac{3\pi}{2} \quad \text{で最大値} \quad 2, \quad x = 0, \frac{\pi}{2} \quad \text{で最小値} \quad -2$$

をとる。

第3問 (1) 点 A, 点 B の座標を求める。

$$(-t, 2t, 0) = \overrightarrow{PA} = \overrightarrow{OA} - \overrightarrow{OP} = \overrightarrow{OA} - (t, 0, 0) \quad \text{より} \quad \overrightarrow{OA} = (0, 2t, 0) \quad \text{である.}$$

ゆえに $A(0, 2t, 0)$. 同様に、 $B(0, 0, 3t)$ であるから、 $\triangle OAP$ を四面体の底面と考えれば

$$V(t) = \frac{1}{3} \left(\frac{1}{2} \cdot t \cdot 2t \right) \cdot 3t = t^3.$$

(2) $t > 0$ であるから,

$$|\vec{PA}| = \sqrt{(-t)^2 + (2t)^2} = \sqrt{5}t, \quad |\vec{PB}| = \sqrt{(-t)^2 + (3t)^2} = \sqrt{10}t$$

$$\vec{PA} \cdot \vec{PB} = (-t) \cdot (-t) = t^2$$

より

$$\cos \angle APB = \frac{\vec{PA} \cdot \vec{PB}}{|\vec{PA}| |\vec{PB}|} = \frac{t^2}{5\sqrt{2}t^2} = \frac{\sqrt{2}}{10},$$

$$\sin \angle APB = \sqrt{1 - \left(\frac{\sqrt{2}}{10}\right)^2} = \sqrt{\frac{98}{100}} = \frac{7\sqrt{2}}{10}$$

したがって

$$S(t) = \frac{1}{2} PA \cdot PB \cdot \sin \angle APB = \frac{7}{2} t^2.$$

(3) 点 H の座標を (x, y, z) とおく. $\vec{OH} = (x, y, z)$ である. \vec{OH} は $\triangle PAB$ と垂直に交わるから,

$$\vec{OH} \perp \vec{PA}, \quad \vec{OH} \perp \vec{PB} \quad \text{すなわち} \quad \vec{OH} \cdot \vec{PA} = 0, \quad \vec{OH} \cdot \vec{PB} = 0$$

が成り立つ. したがって

$$0 = \vec{OH} \cdot \vec{PA} = -tx + 2ty, \quad 0 = \vec{OH} \cdot \vec{PB} = -tx + 3tz$$

であるから, $x = 2y = 3z$ を得る. よって, $\vec{OH} = \left(x, \frac{1}{2}x, \frac{1}{3}x\right)$. ここで, 四面体の底面を $\triangle PAB$ と考えると, 高さは OH であるから

$$t^3 = V(t) = \frac{1}{3} \cdot \frac{7}{2} t^2 \cdot OH = \frac{7}{6} t^2 \cdot OH$$

である. よって, $7 = OH = |\vec{OH}| = \frac{6}{7}t$. したがって, $t = \frac{49}{6}$. また, 明らかに $x > 0$ であるから

$$49 = |\vec{OH}|^2 = x^2 + \frac{1}{4}x^2 + \frac{1}{9}x^2 = \frac{49}{36}x^2 \quad \text{すなわち} \quad x = 6$$

よって, 点 H の座標は $(6, 3, 2)$.

第 4 問 (1) $b_{n+1} = \log_2 8a_n^4 = \log_2 8 + \log_2 a_n^4 = 4 \log_2 a_n + 3 = 4b_n + 3$.

(2) (1) で求めた $\{b_n\}$ についての漸化式は

$$b_{n+1} + 1 = 4(b_n + 1)$$

と変形できる. $\{c_n\}$ を $c_n = b_n + 1$ とすれば,

$$c_{n+1} = 4c_n, \quad c_1 = b_1 + 1 = \log_2 a_1 + 1 = \log_2 1 + 1 = 1$$

が成り立つ. $\{c_n\}$ は公比 4 の等比数列であるから, $c_n = 4^{n-1}$ である. ゆえに $b_n = 4^{n-1} - 1$.

(3) (2) より $a_n = 2^{b_n}$ である. $b_4 = 4^3 - 1 = 63$ であるから, $a_4 = 2^{63}$ となる. いま

$$\log_{10} a_4 = \log_{10} 2^{63} = 63 \log_{10} 2 = 63 \times 0.3010 = 18.963$$

であるから

$$18 < \log_{10} a_4 < 19 \quad \text{より} \quad 10^{18} < a_4 < 10^{19}$$

が成り立つ. したがって a_4 は 19 桁の数である*1.

*1 $2^{63} = 2^{9 \times 7} = 512^7 = 9223372036854775808$.